

第 7 回 揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況に関する フォローアップ調査結果

日本製紙連合会の環境行動計画では、環境リスク問題への対応として「化学物質のリスク管理」を掲げている。これに関連して、揮発性有機化合物（VOC）の排出管理状況を確認するため、本年 4 月に平成 24 年度フォローアップ調査を実施した。

なお、従来は VOC のうち年間総排出量が多かった 5 物質（トルエン、メチルエチルケトン、酢酸エチル、イソプロピルアルコール及びメタノール）を排出管理の対象としていたが、今回からは全ての物質を対象としている。

1. 調査項目

調査対象：51 社 127 工場（会員会社 34 社及び一部関連会社、未回答：1 社 1 工場）

調査年度：平成 12 年度（基準年度）及び平成 16～23 年度

調査項目：工場・事業所別の全ての VOC の使用量及び排出量

2. 調査結果

(1) 全国の排出について（結果を表 1 及び図 1、2 に示す）

今回から全ての VOC について調査の対象としたため、各年度の使用量及び排出量は従来よりも概ね 1 割程度高くなった。ただし、平成 23 年度の削減率は 83.5%であり、VOC 排出抑制の目標とされている「基準年度比 3 割程度削減」を十分に達成している。

表 1) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：48 物質）

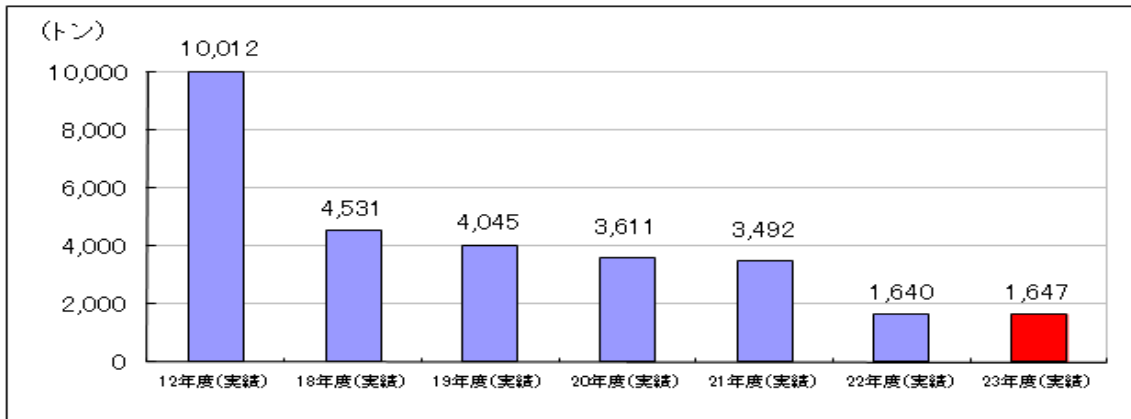
(単位:トン)

		平成12年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度実績	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	18,076	10,012	14,433	3,492	16,827	1,640	15,813	1,647
	削減率			65.1%		83.6%		83.5%	

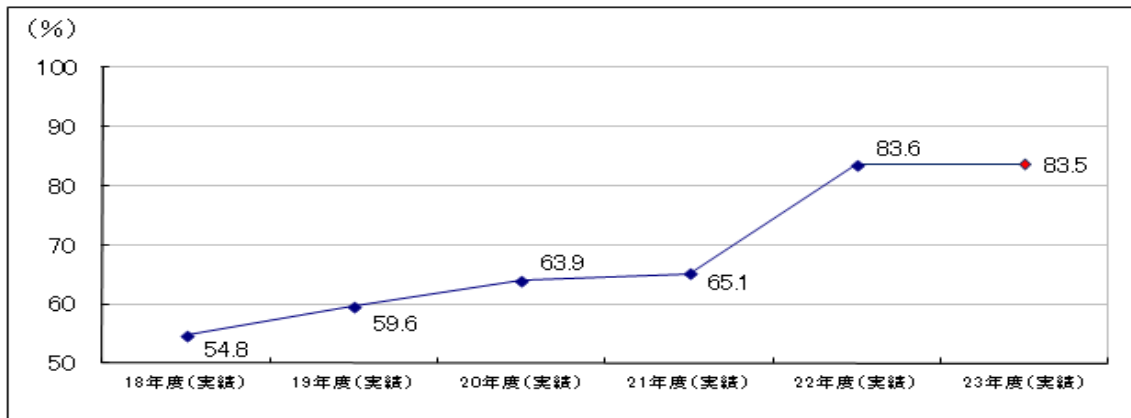
参考) 全国の年度別使用量及び排出量（対象：5 物質）

(単位:トン)

		平成12年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度実績	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
全国	合計	15,470	9,712	12,390	3,299	14,761	1,487	13,206	1,472
	削減率			66.0%		84.7%		84.8%	



図(1) 全国の排出量推移



図(2) 全国の削減率推移

(2) 関東地区の排出について (結果を表 2 及び図 3、4 に示す)

わが国で排出源が多い関東、中部及び関西地区のうち、当業界では排出量の多い関東地区のみを参考指標として全国と併せて排出管理している。

全国と同様に、関東地区も全ての VOC を調査の対象としたため、使用量及び排出量は従来よりも若干高くなったが、平成 23 年度の排出量の削減率は 87.3%であり、VOC 排出抑制の目標とされている「基準年度比 3 割程度」を十分に達成している。

表 2) 関東地区の年度別使用量及び排出量

(単位:トン)

		平成12年度実績		平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度実績	
		使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量	使用量	排出量
関東地区	合計	3,633	2,054	2,657	418	2,874	287	2,662	261
	削減率				79.6%		86.0%		87.3%

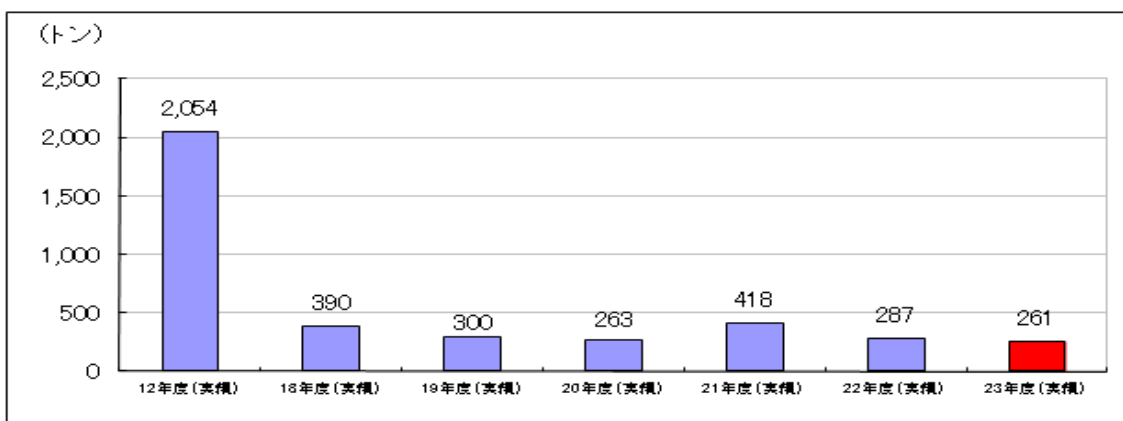


図 3) 関東地区の排出量推移

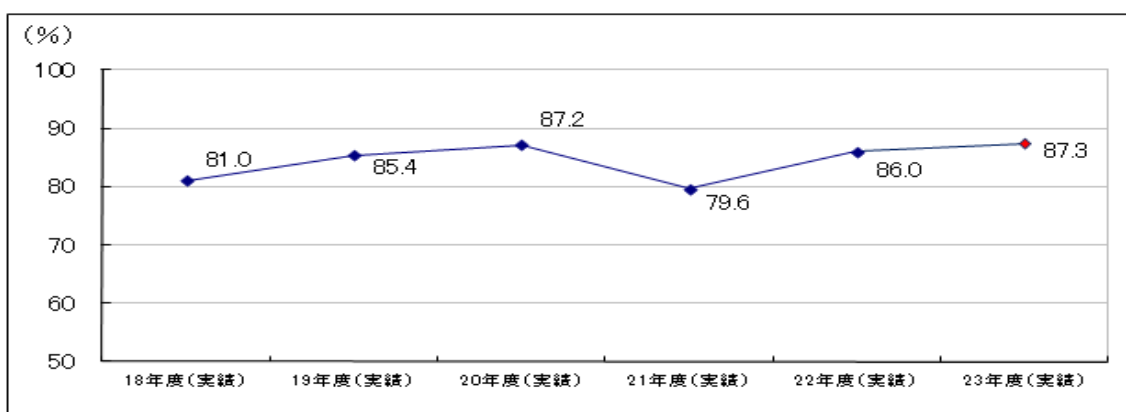


図 4) 関東地区の削減率推移

3. 平成 24 年度以降の取り組みについて

引き続き全ての VOC の排出抑制に努め、削減率の維持を図る。

以上